

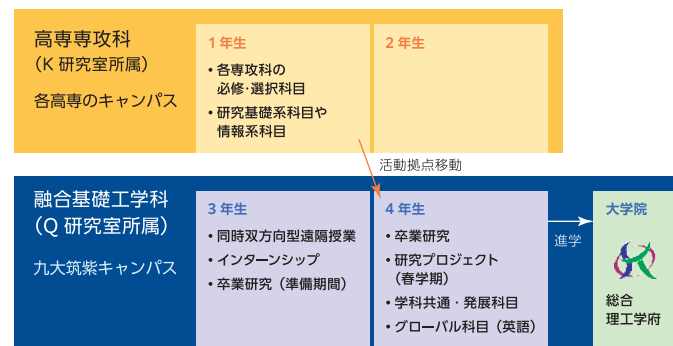


プログラムの特色

FEATURE

九大・高専専攻科 の双方に在籍

3年次(専攻科1年次)は、各高専において主に専攻科科目を学び、4年次(専攻科2年次)は、本学科が置かれた筑紫キャンパスにて卒業研究センターのカリキュラムを1年次から本学科に所属する九大学生と共に学びます。



研究力強化

編入学時、融合基礎工学科と高専専攻科双方の研究室に所属し、早期に卒業研究着手が可能です。双方の指導教員が連携・協力して、研究指導する点が従来の編入学にはない特色です。

学位授与

高専専攻科の学修の一部を大学の単位とみなし、また、大学における学修の一部を高専専攻科の単位とみなす相互単位認定制度を活用して、双方の修了要件単位を取得することで、学士(工学)の学位と専攻科の修了証が授与されます。

ACCESS

都心から南へ
緑豊かなキャンパス環境

西鉄福岡(天神)駅から

白木原駅まで 20 分、
駅からキャンパスまで徒歩 15 分

JR 博多駅から

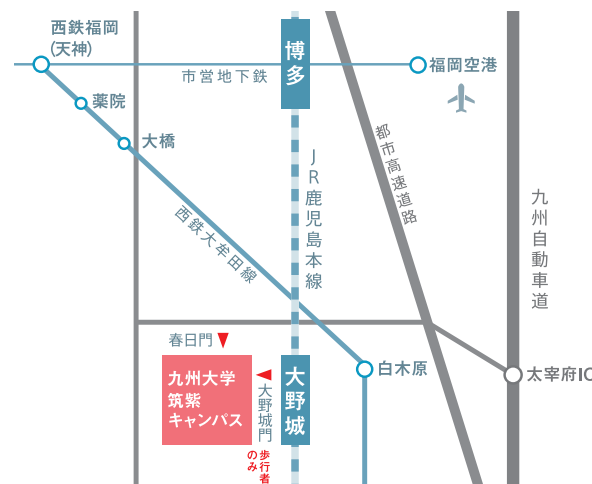
大野城駅まで 10 分、
駅からキャンパスまで徒歩 5 分

九州自動車道から

太宰府 IC から車で 15 分

福岡空港から

地下鉄 & JR (博多駅乗り換え)
もしくはタクシーで 30 分



学生寮について

2024年3月、筑紫キャンパス内に留学生用学生寮(筑紫国際交流会館)が開所しました。この施設に高専連携教育プログラム生(4年次)は優先的に入居できます。敷金・礼金がかからず、生活に必要な家具・家電が完備され、インターネット代は無料です。

詳しいプログラム内容はこちら



[お問合せ]

九州大学工学部附属 高専連携教育推進センター

〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1

Tel. 092-583-7633 / E-mail: konected@jimu.kyushu-u.ac.jp



202606M2



九州大学工学部融合基礎工学科

九州大学工学部附属 高専連携教育推進センター

高専連携教育 プログラム

九大工学部・九州沖縄9高専



What's this Program?

高専連携教育プログラムとは？

九大工学部と 九州・沖縄地区 9 高専の 連携による 『創造力豊かな 高度実践的技術者・研究者』の育成

九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラムは、九州・沖縄地区の9つの高等専門学校（久留米、有明、北九州、佐世保、熊本、大分、都城、鹿児島、沖縄）の専攻科からの編入学生（定員 20 名）を対象に、工学部融合基礎工学科と高専専攻科の双方の強み、教育資源の有効活用により教育内容の高度化を図る新しい連携教育プログラムです。

5 年間の高専本科を卒業後、専攻科に進学する学生を対象に選抜を実施して、融合基礎工学科の3 年次編入生として受け入れます。九大の最先端研究力と高専が有する技術教育基盤を融合させた新しい連携教育により、複雑で多様な地球規模の課題や各地域が直面している諸問題の解決を主導する創造力豊かな高度実践的技術者・研究者を育成します。そのために必要な理工学分野の専門力に加え、情報応用力とグローバル社会への情報発信力、問題発見・解決に不可欠な俯瞰力及び実践力を養成するための教育カリキュラムを用意しています。融合基礎工学科は、物質科学・材料工学分野、機械システム・環境科学分野、電子デバイス・プラズマ科学分野、計算科学分野など、多岐に亘る47 の教育分野（研究室に相当）で構成されています。編入後の2 年間は、融合基礎工学科の研究室と高専専攻科の研究室の双方に所属して、卒業研究を含む研究活動に従事することで研究力を磨くことができます。学部卒業後は、さらなる研究の深化・発展を目指し、融合基礎工学科と連結する大学院総合理工学府・総合理工学専攻へ進学することを推奨しています。



進学理由や高専連携教育プログラムの
魅力などについて学生の声を集めました！

私は幸いなことに、九大・高専両方の指導教員と密にご相談させていただき、両名の専門分野を複合したテーマの研究に取り組むことができました。多角的な視点の指導を受けながら、じっくり研究できるのが連携プログラムの魅力です。

村上 匠（佐世保高専）

本プログラムに入学し、高専生という共通のバックグラウンドを持つ同級生と共に、半導体や核融合など様々な分野の講義を受講したことで、自分の専門以外にも視野が広がりました。また、留学生や内部生など多様な人と関わることができ、日々多くの刺激を受けられることも魅力の1つです。

山福 桜綺（久留米高専）

私は、高専で学んだことを活かしつつ新しい分野に挑戦したいという考えから進学を決めました。高専と九州大学の双方の教員から研究指導を受けられ、異分野融合能力を養うことができる点が、本プログラムの魅力だと思います。

平井 寛大（熊本高専 / 熊本C）

Point!
筑紫キャンパスは国際色豊かな学習環境です。大学院生（修士・博士課程）の約40%* が留学生です。

九大、高専間の連携では、早期での本格的な研究着手が最大の魅力です。特に博士進学を考えている場合、研究実績が進学に伴う様々な援助の申請にあたって大きなアドバンテージとなります。

濱田 仁誠（都城高専）

九大連携の魅力は、研究にじっくり長く取り組める点だと思っています。私は高専専攻科1 年生のときと、九州大学4 年生のときの2 回、学会でポスター発表を経験しました。また、九州大学に進学してからは、国籍を問わず切磋琢磨できる研究室の仲間とも出会い、日々刺激を受けながら楽しく研究に取り組んでいます。

江口 朋花（北九州高専）



高専の中にとどまっていたは関われなかった他の高専生や九大生とも会え、良い刺激になると思います。また、大学院進学を考えているのであれば、研究室の院生から大学院について様々なことを教えてもらうこともできますし、また大学院へ進学しやすいのが大きなメリットです。

原田 龍汰（熊本高専 / 八代C）

進学前は早期から研究に取り組める点に惹かれ、進学後は多くの研究仲間と切磋琢磨しながら成長できる環境に魅力を感じました。同志と高め合えることが、このプログラムの大きな魅力です。

我那覇 綸（沖縄高専）

高専に所属しながら九州大学の先進的な設備を使って研究できること、修士課程に繋がる研究を早期にできる事が最大の魅力です。学会の参加や九大生との刺激的な日々を送れます。

小松原 佑仁（久留米高専）

Student's Voices

（2025 年度）

高専時代に学んだことを、九大の豊富な研究環境の中で応用して実践的に学びたいと思い進学しました。また、高専本科を卒業してから研究のブランク期間が無い点や、高専と九大の2 人の指導教員のもとで研究を遂行できる点が魅力だと思います。

木付 和香子（有明高専）

Point!
男女比率 4:1* で、工学部の中では女子学生が多い方です。

選択の幅が広がる点が大きな魅力です。進学のタイミングで研究テーマを変更して新たな領域に挑むこともできれば、逆に専攻科から大学院修了まで同じテーマを追求し続けることも可能です。また、大学院生の先輩方と関わる機会が増えるため、院進学後スムーズに研究に入ることができます。

江崎 遥紀（熊本高専 / 熊本C）

ADMISSION 編入学特別選抜入試について

願書出願前に指導予定教員（九大教員1 名、高専教員1 名）を決定している者を選抜試験の対象とし、口頭試問を実施し、その結果と提出書類による総合判定で選抜します。なお、高専本科4 年次に夏期インターンシップや研究室訪問を通じて九大・指導予定教員との事前マッチングを実施します。

■ 対象 全国の高等専門学校を卒業、あるいは卒業見込みの者

■ 出願資格 連携高等専門学校（九州・沖縄地区の9 つの高専）の専攻科が実施する所定の選抜試験に合格し、同専攻科への入学を確約した者のうち、連携高等専門学校長の推薦を受けた者



FAQ よくある質問

Q1 なぜこのプログラムを選んだ？
やりたい研究ができる環境だったから！

Q2 他の進路との違いは？
高専と九大、両方で学べるのが魅力！

Q3 一番のポイントは？
早くから研究に挑戦でき、長期間じっくりテーマを深められる！

Q4 研究室はどうなるの？
高専+九大、2 つの研究室に所属！

Q5 仲間はいら？
同じ連携生がいるから安心！

Q6 どんな人と出会える？
大学生・院生・留学生と交流できる！

Q7 学生生活は？
刺激が多くて毎日が新しい！

Q8 将来につながる？
大学院や研究職への道が広がる！

